

# 産業用自動逆洗フィルター クーラント・オイル・アルカリ洗浄液用

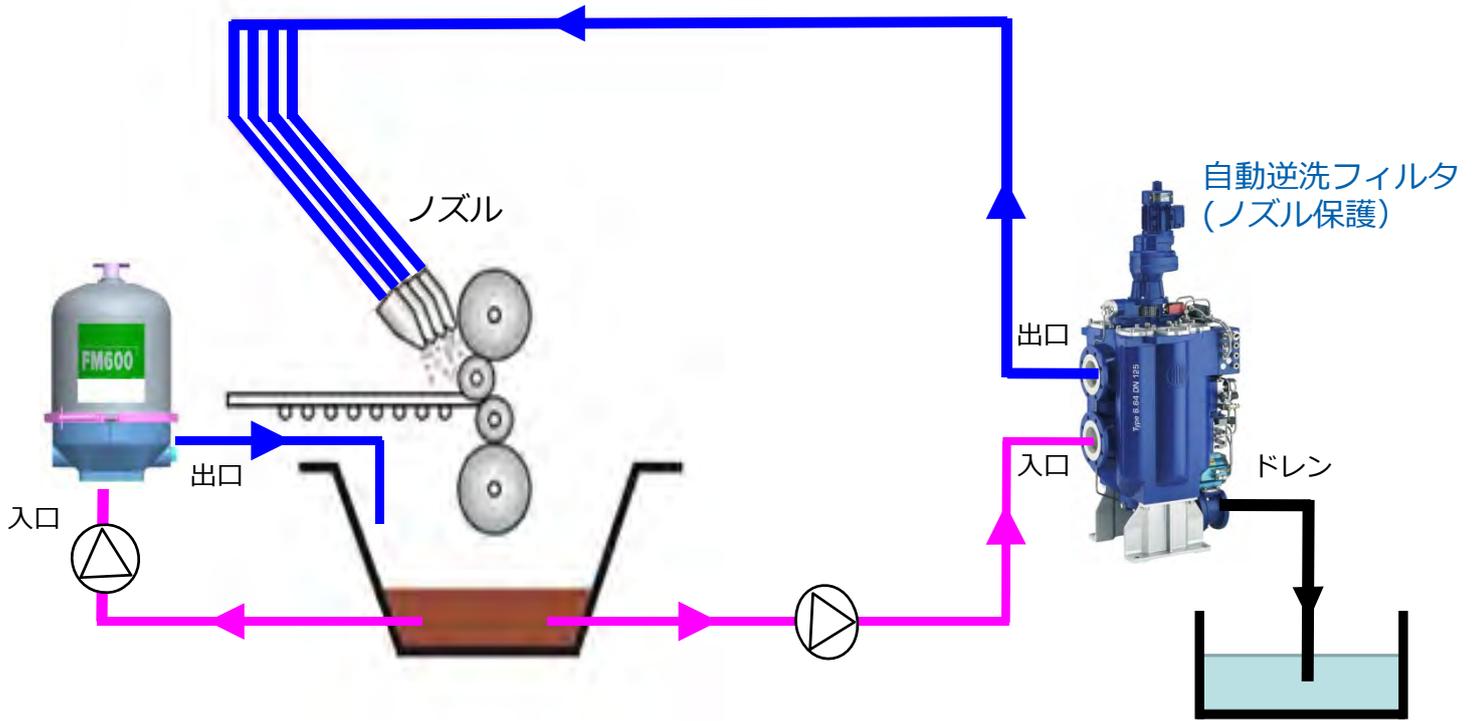
型式 6.04



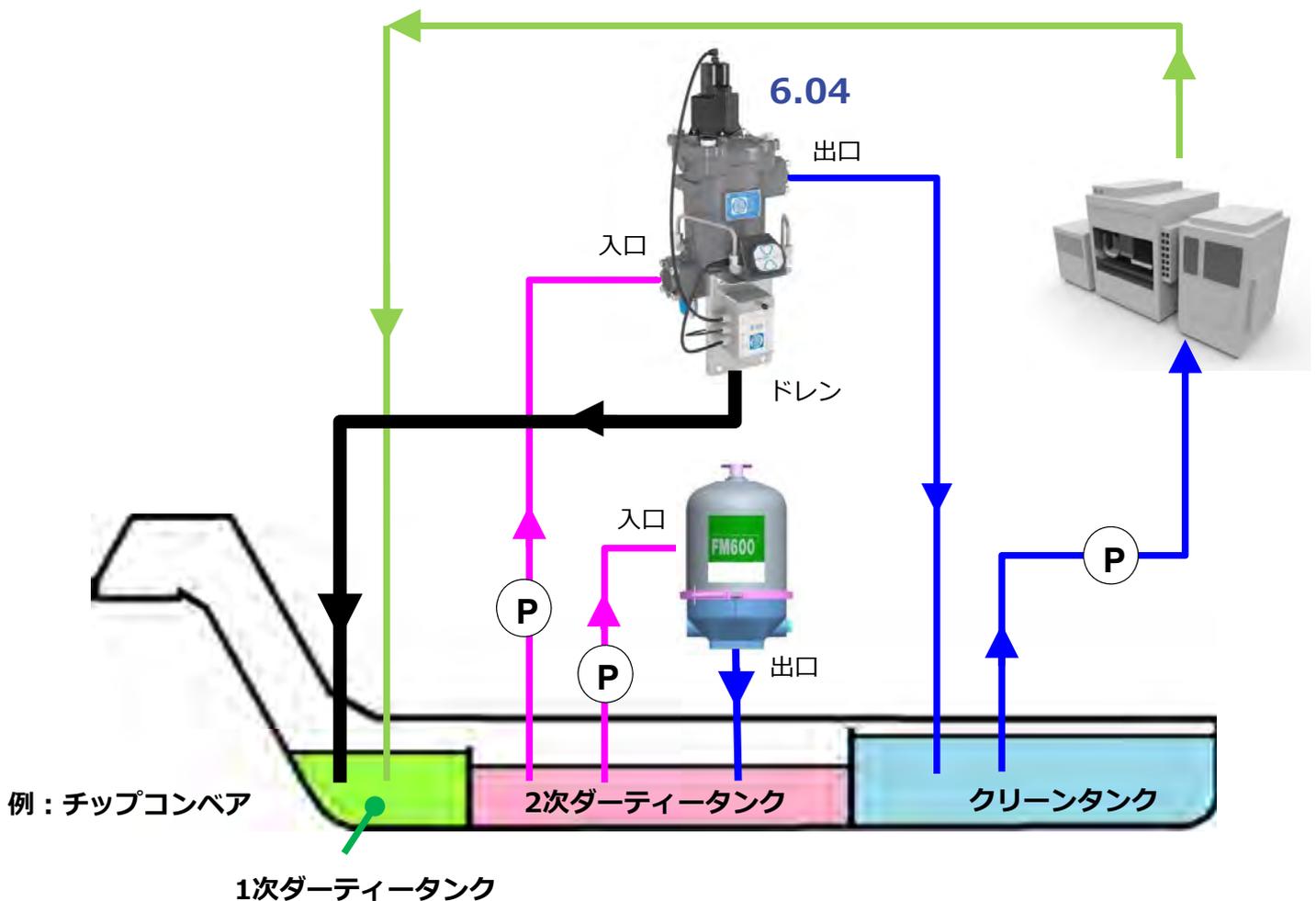
型式 6.64



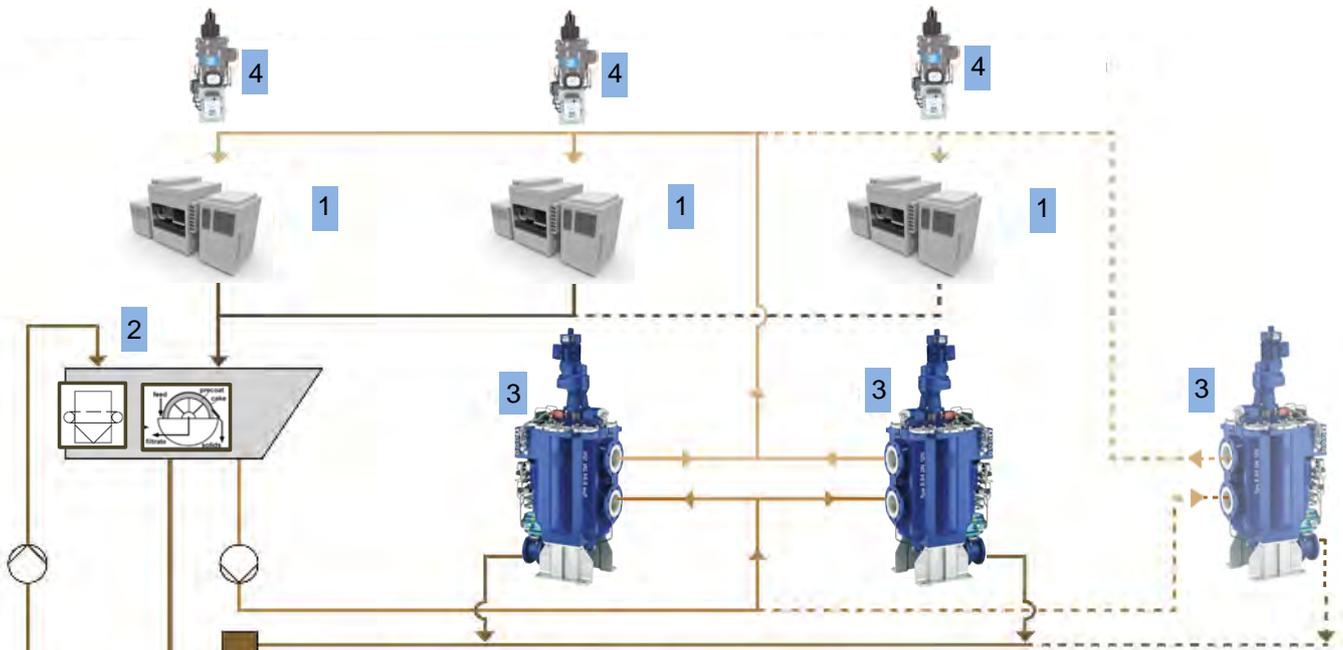
# 潤滑油・エマルジョン液・クーラント 最適濾過 ノズル保護・タンククリーニング



# 工作機・クーラント二次濾過・高圧ポンプ保護 タンククリーニング・ノズル保護



# 集中濾過・大型クーラント濾過



1. マシニングセンタのチップセパレータ、スクレーパ
2. 一次フィルタ (例: バンドフィルタ、ドラムフィルタ、沈殿槽)
3. 二次フィルタ (Type 6.64)
4. ラインフィルタ、インジケーションフィルタ (Type 6.04)
5. ドレン処理 (例: バンドフィルタ、マグネットセパレータ、サイクロンセパレータ)

## その他

- 各種工作機  
研削盤、切削盤等  
油性、水性  
磁性、非磁性



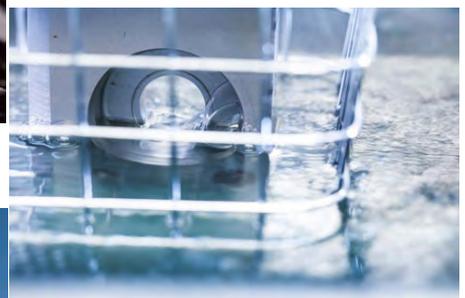
- 冷却液



- 作動油



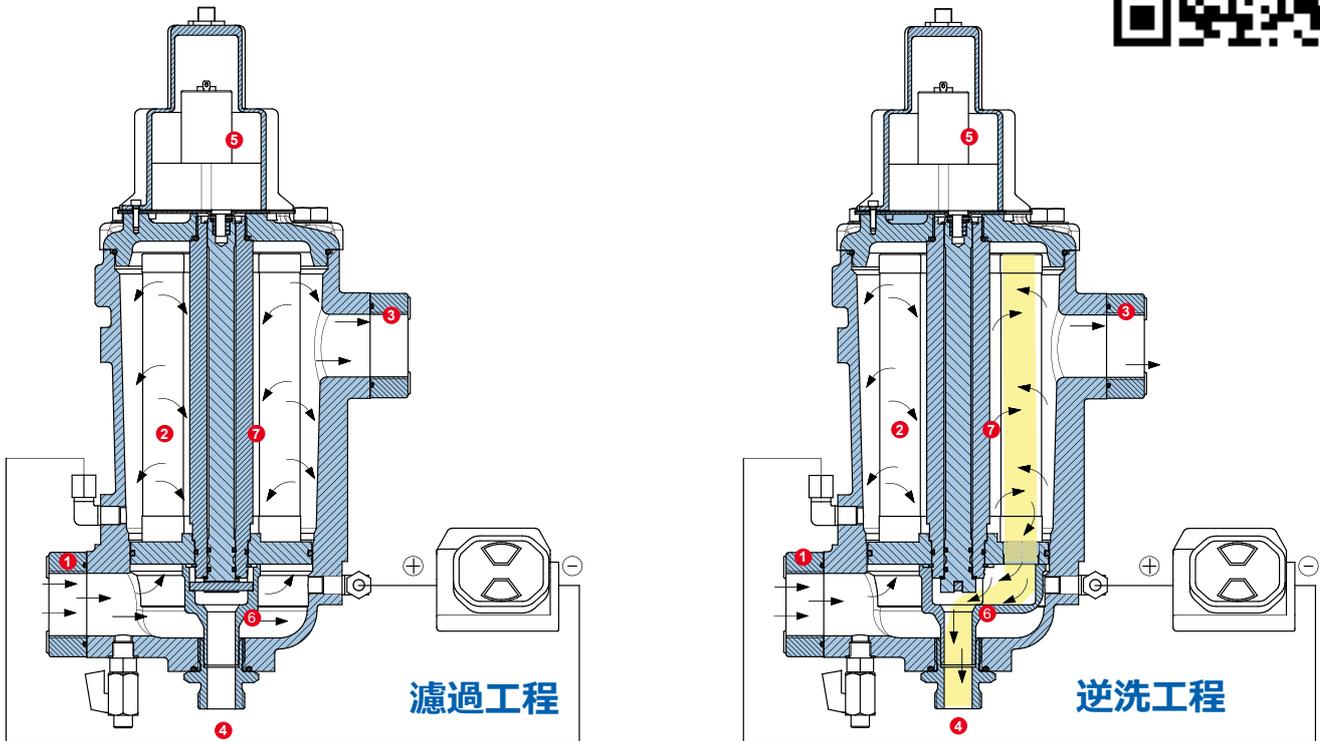
- 洗浄液



- 燃料油



# 取り扱いが簡単 自動逆洗フィルタ Type 6.04



濾過される流体は入口フランジ①からフィルタハウジング内に流れ込み、8つあるフィルタカートリッジ②の下部開放端から流入します。流体はフィルタカートリッジを通して内側から外側に流れ、夾雑物はフィルタカートリッジ内の濾材によって捕捉されます。その後、清浄または濾過された流体は、フィルタ出口③に流れます。

濾過(左図)の場合、逆洗弁④は閉じられており、モータ⑤もオフ状態にあります。その後、フィルタカートリッジに捕捉された夾雑物がフィルタ出入口間に差圧を発生させ、その差圧が設定値に達すると、制御ユニットは信号を送りモータを回転させ、逆洗アーム⑥を回転し、フィルタカートリッジをひとつひとつ逆洗します(右図)。

同じタイミングで逆洗弁④が開かれ、フィルタカートリッジ内において高速の逆洗流が発生し、捕捉されていた夾雑物は逆洗され、パイプ⑦を介してフィルタから排出されます。

逆洗アームは約2回転すると制御ユニットがモータをオフに切り換えます。逆洗開放弁は閉じられ、フィルタはきれいな状態となります。8つあるフィルタカートリッジを1つ1つ逆洗することにより、逆洗をしている間であっても必要な流量を維持することができます。



メッシュタイプの  
フィルタカートリッジユニット

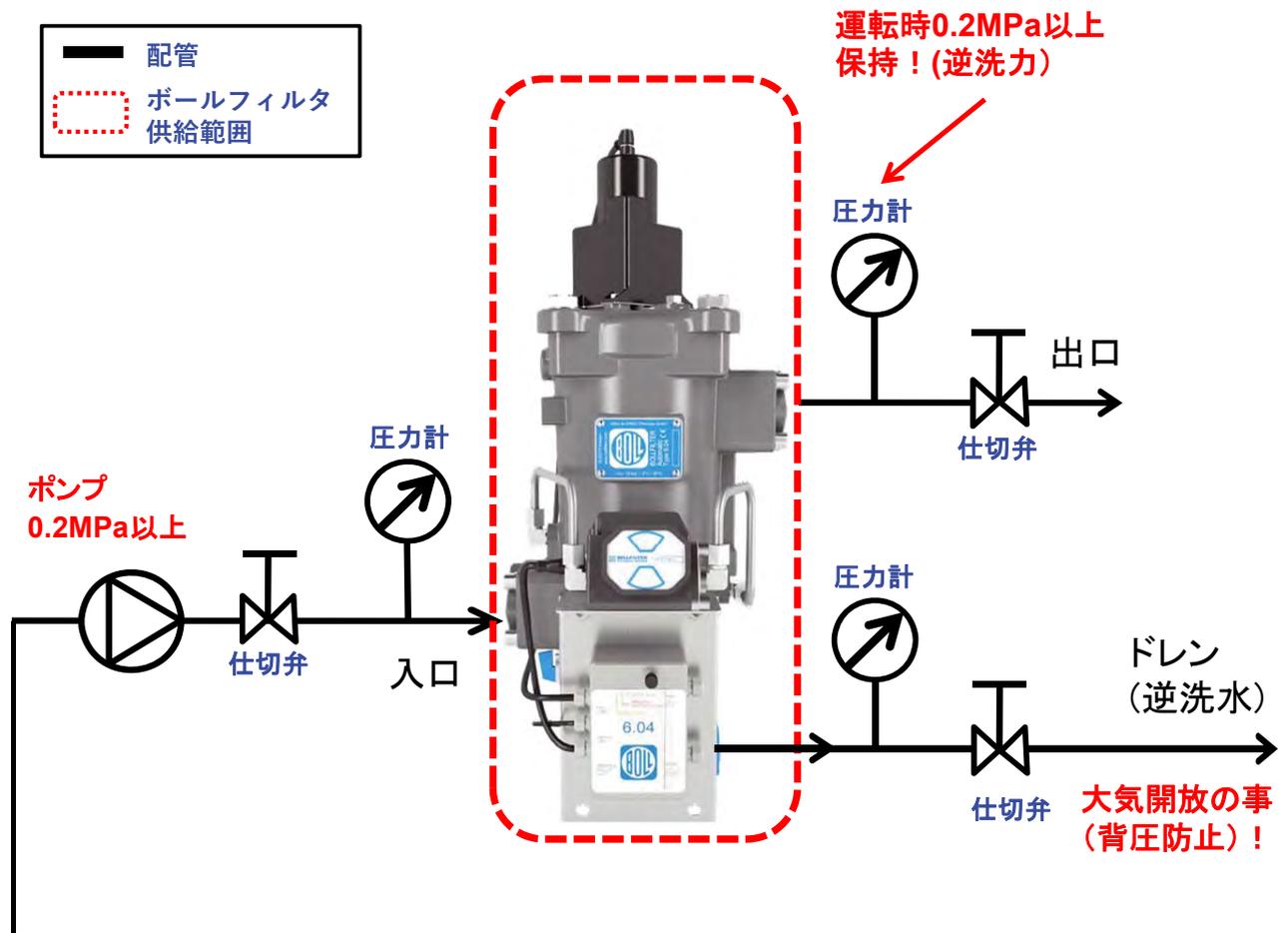


ウェッジワイヤータイプの  
フィルタカートリッジユニット

# 諸元

適用範囲	水・クーラント（水溶性、油性）
最大流量	水 300 l/min 油性 250 l/min
濾過精度	10 μm - 500 μm
公称口径	DN 40 または G 1 1/2
使用圧力	0.2-1.6MPa
使用温度	0°C - 90°C
ハウジング材質	ハードコートアルミニウム
逆洗方法	自己流体式自動逆洗
逆洗制御方式	差圧検知、タイマー併用
フィルターエレメント	8本のカートリッジタイプ(ネジ込み式)
電圧	24 V DC
重量	11kg

# 設置推奨



# 大容量・精密濾過 自動逆洗フィルタ Type 6.64

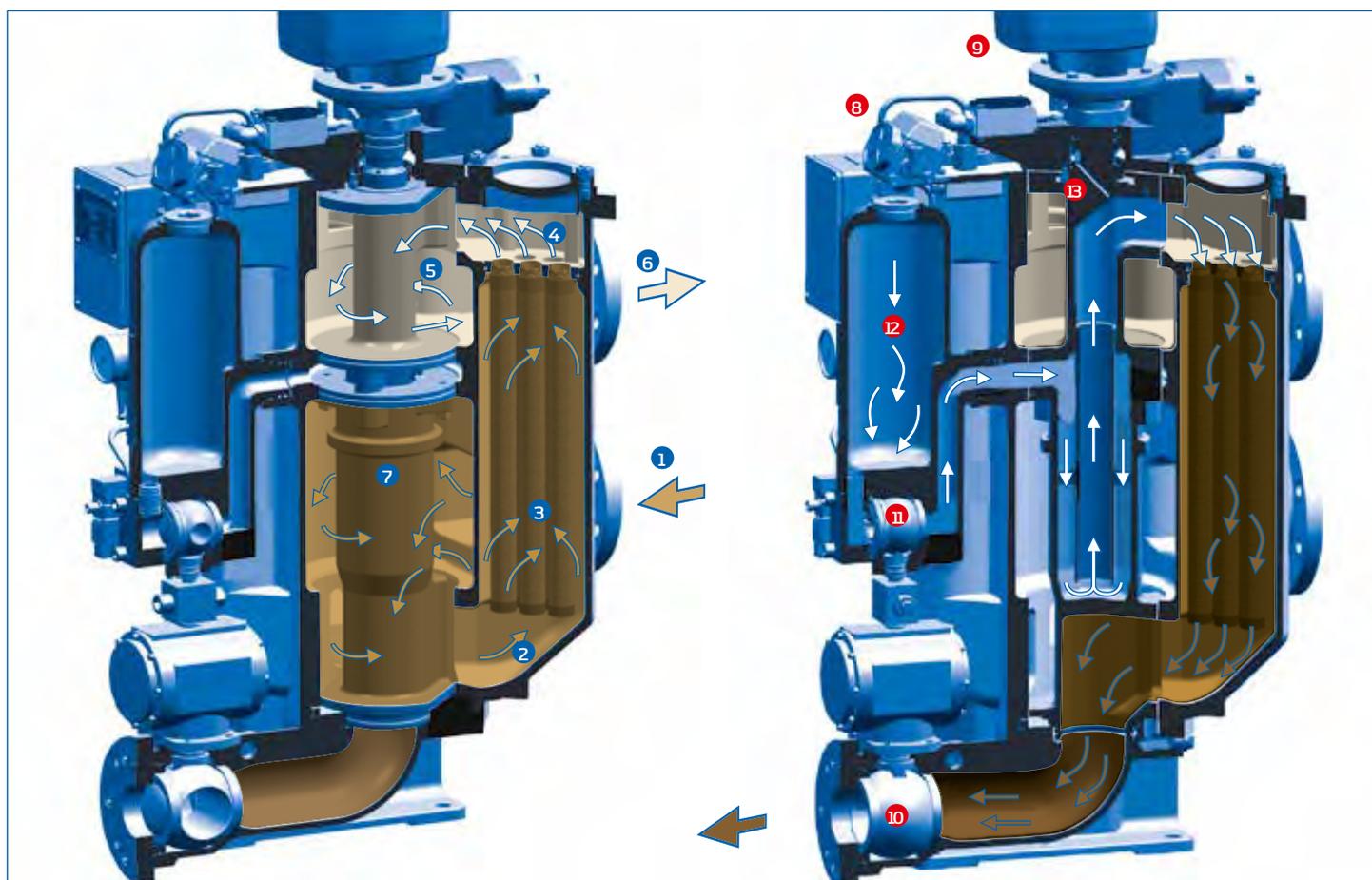


濾過工程の際、流体は下部入口①より流入し、各フィルタ・チャンバ②の側面入口を通り、内部に装着されているフィルタ・エレメント③の外側から内側へ通過します。使用の濾過精度よりも大きなすべての夾雑物は、エレメントの外側表面で捕捉され取り除かれます。洗浄された流体④は、部屋⑤を経て上部出口⑥より使用に供されます。常に1本のフィルタ・チャンバは中央の隔離用ロータリ・コック⑦によって濾過運転工程から切り離されて待機しています。逆洗が行われたチャンバ内部は、清浄の流体で満たされた状態でライン圧力と同じ圧力に戻され、次の運転に備えています。

フィルタ・エレメント表面に蓄積された夾雑物によって、フィルタの入口側と出口側の差圧が上昇し、差圧インディケータ⑧が逆洗開始差圧を検知すると、コントロールユニットに信号を伝え、自動的に逆洗工程が始まります。

電動ギア・モータ⑨は隔離用ロータリ・コックを回転させ、逆洗しようとするチャンバを隔離すると同時にスタンバイ中だったチャンバを運転に加えます。エア・アクチュエーターによってドレン排出弁⑩とエア排出弁⑪が開かれ、隔離用ロータリ・コックを介して隔離されたフィルタ・チャンバへエア・リザーバ⑫に貯められた圧縮空気の膨張波動力が伝播されます。逆洗圧縮空気は内部に滞留している最小限の清浄流体と共に通常の流れと反対方向へ高速流を発生させ、フィルタ・チャンバから排出します。

エア・ブロが完了すると、再度両方の排出弁も閉じられます。空になったチャンバは、ロータリ・コックにあるフィリング用の小穴⑬を通じて清浄流体で充たされ、自動的にエア抜きされます。当該チャンバは、スタンバイ・チャンバとして次の濾過工程に備えます。



濾過工程

逆洗工程





ボールフィルタージャパン株式会社

本社

〒650-0033

神戸市中央区江戸町95番地

井門神戸ビル13F

TEL: 078-331-8031

FAX: 078-331-8032

E-Mail: info@bollfilter.jp

Web: <http://www.bollfilter.jp>



横浜営業所

〒220-0004

神奈川県横浜市西区北幸2-8-19

横浜西口Kビル7階7A-1号室

TEL:045-548-8845